



2023年11月10日

各 位

会 社 名 株式会社トランスジェニック
代表者名 代表取締役社長 福永 健 司
(コード番号 2342 東証グロース)
問合せ先 取 締 役 船 橋 泰
(電話番号 03-6551-2601)

**(開示事項の経過)当社連結子会社の(株)安評センターとアンジェス株式会社との
共同研究開発の進捗に関するお知らせ～TGZF 完成～**

当社連結子会社の株式会社安評センター（代表取締役 福永健司、静岡県磐田市、以下、安評センター）とアンジェス株式会社（代表取締役社長 山田 英、大阪府茨木市、以下、アンジェス）との間ですすめている薬剤スクリーニングを目的としたトランスジェニックゼブラフィッシュ※モデル（以下、TGZF）の共同研究開発（2022年11月10日付リリース『当社子会社の(株)安評センターとアンジェス株式会社との共同研究開発に関するお知らせ』以下、本共同開発）の進捗状況について、下記のとおりお知らせいたします。

【TGZF の開発の状況と見通し】

本共同開発が目標とする NF- κ B デコイオリゴ DNA を評価するための TGZF モデル開発については、2023年3月にベクターが挿入された TGZF (F0 世代) を取得し、その後、交配、選別等を実施してまいりましたが、この度、開発目標であった TGZF モデルが完成いたしました。今後、安評センターにおいて、当該 TGZF モデルが薬剤スクリーニングとして活用可能かの検証を経て、当該 TGZF モデルを用いた創薬スクリーニングサービスを広く展開する予定です。

本共同開発による 2024年3月期の連結業績に与える影響は軽微ですが、当社グループは、遺伝子改変技術をはじめとする強い技術力を武器に、CRO 事業の拡充を通じて創薬支援事業領域の拡大を図り、中長期的な企業価値最大化に向けて取り組んでまいります。今後開示すべき事項が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

◆ご参考

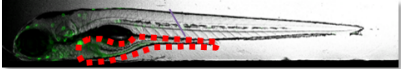
※1 ゼブラフィッシュ

ゼブラフィッシュは、ヒトとゼブラフィッシュ間の疾患ゲノム類似性は約80%などの特徴がありヒトへの外挿性が高く、スクリーニングが簡便なこともあり需要が高まっています。また、安評センタージェノミクス事業部の専門領域であるトランスジェニック（遺

伝子改変) 技術を応用したトランスジェニックゼブラフィッシュの開発や幅広いヒト疾患モデルなどの開発が進み、2021年度 129 億円 (1 USD=144JPY) から 2028 年には 334 億円に拡大すると予想されています (Global Information “ゼブラフィッシュの世界市場 (2022 年)” 引用)。

以 上

◆概要

研究開発内容・目的	開発進捗状況															
<p>BSRC BioSafety Research Center</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)安評センターは炎症性刺激による GFP 発現及び薬剤に対する反応性の確認が可能な TGZF モデルを開発 <small>刺激剤を卵黄嚢注射後24時間のGFP発現誘導</small>  <p>AnGes</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)アンジェスは炎症に関連する種々のタイプの薬剤を用いて TGZF モデルの有用性を検証 	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="839 712 903 757">No</th> <th data-bbox="903 712 1275 757">開発工程</th> <th data-bbox="1275 712 1396 757">進捗</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="839 757 903 853">(1)</td> <td data-bbox="903 757 1275 853">GFPLレポータープラスミド及び Transposase 発現ベクターの作製</td> <td data-bbox="1275 757 1396 853"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="839 853 903 904">(2)</td> <td data-bbox="903 853 1275 904">TGZF モデルの作製 (F2)</td> <td data-bbox="1275 853 1396 904"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="839 904 903 956">(3)</td> <td data-bbox="903 904 1275 956">TGZF モデルの検証</td> <td data-bbox="1275 904 1396 956"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="839 956 903 1010">(4)</td> <td data-bbox="903 956 1275 1010">各種薬剤への反応性の確認</td> <td data-bbox="1275 956 1396 1010"></td> </tr> </tbody> </table>	No	開発工程	進捗	(1)	GFPLレポータープラスミド及び Transposase 発現ベクターの作製		(2)	TGZF モデルの作製 (F2)		(3)	TGZF モデルの検証		(4)	各種薬剤への反応性の確認	
No	開発工程	進捗														
(1)	GFPLレポータープラスミド及び Transposase 発現ベクターの作製															
(2)	TGZF モデルの作製 (F2)															
(3)	TGZF モデルの検証															
(4)	各種薬剤への反応性の確認															
<p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">TGZF を用いた 薬剤スクリーニングサービスの開始</p>																